



森下仁丹

株主の皆様へ

第83期

中間事業報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

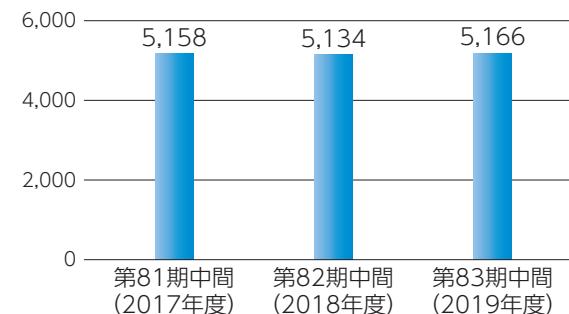
ここに当社グループの第83期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

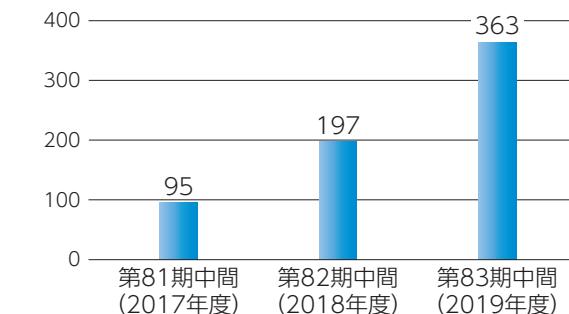
売上高

(単位：百万円)



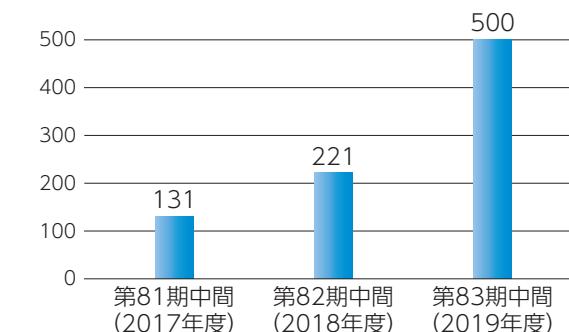
親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：百万円)



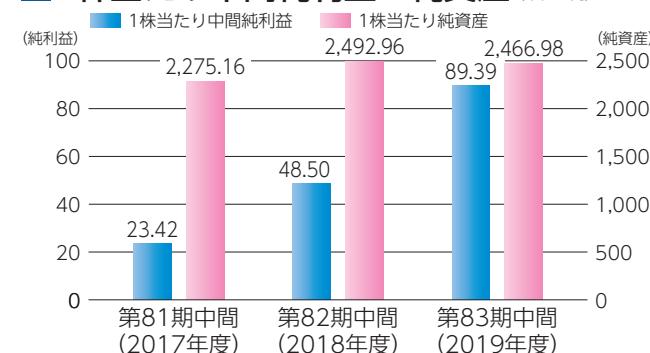
営業利益

(単位：百万円)



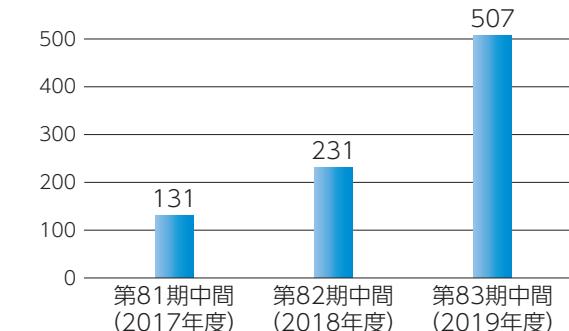
1株当たり中間純利益・純資産

(単位：円)



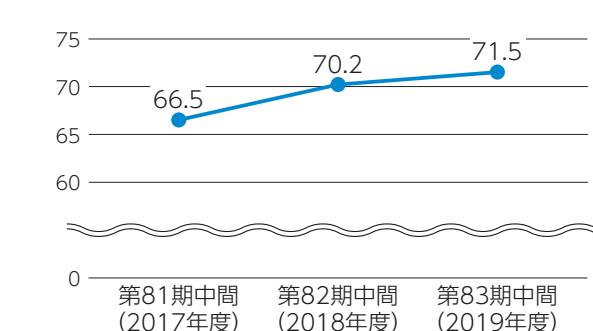
経常利益

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



01 事業の概況について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、横ばい圏で推移しております。企業収益は高水準を維持しておりますが、海外経済の減速やグローバルなIT需要の減退などから製造業を中心に頭打ちとなっております。個人消費は、雇用所得環境の改善が続いておりますが、物価上昇による実質所得の伸び悩みなどから緩やかな持ち直しにとどまっております。消費者物価上昇率（生鮮食品を除く総合）は食料・外食を中心に物流費、人件費等のコスト増を価格転嫁する動きがみられますが、原油価格の下落に伴い、伸び率が鈍化しております。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。当中間連結会計期間においては、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」の販売が前年同中間期と比べ減収となりましたが、フレーバーカプセルの受託や、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同中間期と比べ増収となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高5,166百万円（前年同中間期比0.6%増）、営業利益500百万円（前年同中間期比125.6%増）、経常利益507百万円（前年同中間期比118.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益363百万円（前年同中間期比84.4%増）となりました。

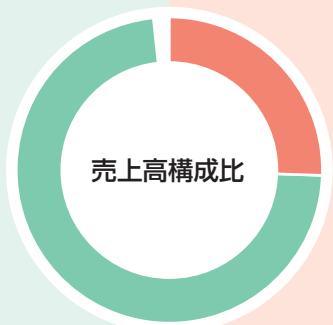
ヘルスケア事業

「セルフメディケーション」の推進を目指して

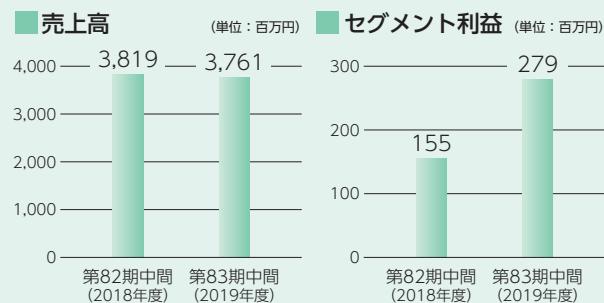
創業者・森下博は「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。「健康とともに安心と安全をお届けする」この健康理念のもと、原料を厳選し、優良品を製造することを志とするその思いは今も受け継がれ、独自のカプセル技術とこだわりの品質の製品を、毎日健康で過ごしたいと願う全ての皆様にお届けしています。

当セグメントにおきましては、当社独自の機能性素材であるローズヒップが前年同期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」や、メディケア商品が前年同期と比べ減収となり、売上高は、3,761百万円と前年同期と比べ57百万円の減収となりました。損益面では、売上高が低調に推移するなか、効率的なプロモーション活動等に努め、セグメント利益は、279百万円と前年同期と比べ123百万円の増益となりました。

※報告セグメントの変更等に関する事項
当第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分しておりました子会社の一部について、「ヘルスケア事業」へ区分しております。なお、前年同中間期連結会計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。



57百万円減
(前年同中間期比)



カプセル受託事業

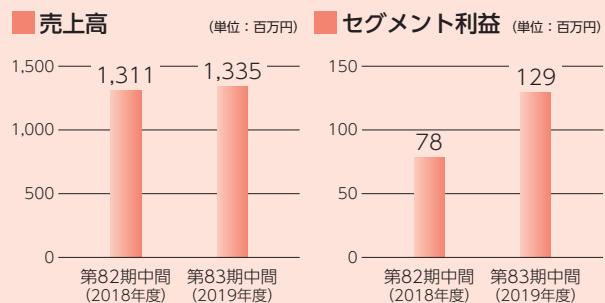
医薬品から食品、産業用まで進化し続けるシームレスカプセル技術

「液体の仁丹を作れないか」その思いから開発が始まり、今では森下仁丹のコア技術として発展した「シームレスカプセル技術」。粉末、液体、微生物など様々なものを包むことができ、また、皮膚の調整により、ドラッグデリバリーシステムを実現する医薬品から、食品、産業用まで様々な分野への展開が可能です。

当セグメントにおきましては、プロバイオカプセルやその他の受託については前年同期と比べ減収となりましたが、フレーバーカプセルが前年同期と比べ増収となり、売上高は、1,335百万円と前年同期と比べ24百万円の増収となりました。損益面では、効率的な研究開発投資に努めたこともあり、セグメント利益は、129百万円と前年同期と比べ51百万円の増益となりました。



24百万円増
(前年同中間期比)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2019年9月30日現在)	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,597	5,691
固定資産	8,456	8,430
有形固定資産	5,243	5,358
無形固定資産	324	271
投資その他の資産	2,887	2,800
資産合計	14,054	14,121
負債の部		
流動負債	2,083	2,319
固定負債	1,926	2,030
負債合計	4,009	4,350
純資産の部		
株主資本	9,060	8,841
その他の包括利益累計額	983	930
純資産合計	10,044	9,771
負債・純資産合計	14,054	14,121

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	5,166	5,134
売上原価	2,428	2,420
売上総利益	2,738	2,714
販売費及び一般管理費	2,238	2,492
営業利益	500	221
営業外収益	15	18
営業外費用	8	8
経常利益	507	231
税金等調整前中間純利益	507	231
法人税、住民税及び事業税	122	35
法人税等調整額	21	△ 1
中間純利益	363	197
親会社株主に帰属する中間純利益	363	197

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	383	412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 316	△ 231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 319	△ 429
現金及び現金同等物の増減額	△ 252	△ 248
現金及び現金同等物の期首残高	2,293	2,097
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,040	1,848

TOPICS

1

森下仁丹オリジナルキャラクター

仁丹王子® (じんだんおうじ) 英語名 Prince Jintan

プロフィール

- 100年以上前から薬の外交官として親しまれている仁丹のトレードマークから誕生したオリジナルキャラクター
- 出身地：大阪市
- 好きな食べ物：梅仁丹

「仁丹王子®」は「日本はもちろん、世界中の人々に健康を届けたい」という想いが込められた“薬の外交官”として活躍しています。1905年（明治38年）に誕生した森下仁丹の商標「大粒服マーク」から誕生した、オリジナルキャラクターです。

さらに広く皆様に親しみを感じていただける企業となれるよう、イベントや地域の催しなどへの参加を通して活躍の幅を広げています。

応援に駆けつけたよー!



森下仁丹は玉造に根をおろして112年

玉造駅があたりしくなっただで!

JR玉造駅 リニューアル開業記念イベントに 仁丹王子®が参加

1893年（明治26年）大阪市東区淡路町に創業した当社は、懐中薬「仁丹」（赤大粒）、「毒滅」といった当時画期的な商品による大ヒットと、海外販路開拓によって事業が急成長し、1908年（明治41年）には第一製薬場を現在の中央区玉造（当時・東区玉堀町）に建設いたしました。以降当社は、玉造に本社を置き現在にまで至っており、この地に根をおろして今年で112年目となります。

当社のオリジナルキャラクター「仁丹王子®」は、2019年8月31日（土）に開催されたJR玉造駅リニューアル開業記念イベントに参加いたしました。

JR西日本グループの「大環状線改造プロジェクト」重点施策としてリニューアルが進められた玉造駅は、工事が完了する8月31日（土）にあわせて記念式典や記念イベント、抽選会などが催されました。このリニューアルを契機に玉造のまちにさらに活気が生まれるよう、地元企業や玉造日之出通商店街・玉造商店会・幸村ロードが連携し、記念イベントを盛り上げました。

※懐中薬とは、ふところやポケットに入れて携帯し、容易に服用できるよう製造した薬です。本記事中の「仁丹」の効能は、現行の製品のものではなく当社の歴史に基づいて記載しております。



サッカー選手を夢見る東南アジアの子供たちを応援!

JINTAN
U-15

アセアンドリーム フットボールトーナメント2019

日本・タイ・ベトナム・韓国からの16チームが熱戦を繰り広げ
日本チームが初の栄冠

当社は、アジアのジュニアサッカー大会「U-15 アセアンドリームフットボールトーナメント」に協賛を続けております。今年は、2019年7月29日（月）～8月3日（土）の6日間にわたり、タイ バンコクのトンプリ大学にあるFATハイパフォーマンストレーニングセンターにて熱戦が繰り広げられました。

「U-15 アセアンドリームフットボールトーナメント」は、“選手の育成や強化、アジア全体でのサッカーのレベルアップ、選手発掘、国際交流とグローバル人材の育成”を目的としてスタートした大会です。タイを中心に東南アジア各国にて様々な普及・育成活動を続けている、大会アンバサダーで元ガンバ大阪の木場昌雄氏（一般社団法人Japan Dream Football Association (JDFA) 代表理事/Jリーグ・アジアアンバサダー）の活動とこの大会趣旨に賛同し、当社は第1回大会より協賛を続けております。第5回目の今年は冠スポンサーとして応援いたしました。

今年は、8月3日に決勝戦が行われ、VISSEL KOBEがRACHABURI MITRPHOLを破り優勝を飾り、5大会目にして初めて日本のJクラブが栄冠を手に入れました。また、大会を通じて最も才能と可能性を感じさせてくれたアセアンドリームプレイヤー（優秀選手）として選出されたタイ人選手2名は、今年11月にJクラブアカデミーへの練習参加を予定しており、今後の活躍に期待が高まります。



TOPICS

2

水に溶かして簡単栄養補給、大人のためのプロテインパウダー

「大人のプロテイン」新発売

2019年8月20日（火）通信販売などで販売開始

当社は、大人のためのプロテインパウダー「大人のプロテイン」を2019年8月20日（火）に新発売いたしました。

「大人のプロテイン」は、アミノ酸がバランスよく含まれるホエイプロテイン由来のたんぱく質を、1回分（20g）で6.4g補給できます。くせのないミルク風味で、水はもちろん、青汁、コーヒー、紅茶などの飲み物や料理にも入れることができ、手軽においしく栄養補給できることが特長です。

昨今幅広い年代でのたんぱく質不足が叫ばれているなか、アスリートやジムユーザー向けといった限定的な印象の強かったプロテイン商品が注目を集めています。「大人のプロテイン」は、身体づくりに欠かせないたんぱく質をメインとしながら、食事で不足しがちなビタミン、ミネラル、食物繊維も総合的に補えるように設計し、健康維持に気を遣うすべての「大人世代」の方々が毎日手軽に栄養補給できる商品にいたしました。運動を欠かさない方への栄養補給や、ダイエットなどで栄養バランスが偏りがちな方にもおすすめです。



商品名	大人のプロテイン
名称	乳たんぱく含有加工食品
原材料名	乳清たんぱく（アメリカ製造）、砂糖、乳等を主原料とする食品、難消化性デキストリン、ドロマイト、食用粉末油脂、バターミルクパウダー、植物油、亜鉛含有酵母、マンガン含有酵母、ヨウ素酵母、銅含有酵母、セレン含有酵母、モリブデン含有酵母、クロム含有酵母/増粘剤（グアーガム）、リン酸カルシウム、V.C、ピロリン酸鉄、香料、V.E、ナイアシン、パントテン酸Ca、V.B1、V.B2、V.B6、V.A、葉酸、V.D、V.B12、（一部に乳成分・大豆を含む）
栄養成分表示 1回分 (20gあたり)	エネルギー 78kcal、たんぱく質 6.4g、脂質 2.1g、炭水化物 9.5g（糖質 7.0g、食物繊維 2.5g）、食塩相当量 0.086g、ビタミンA 300μg、ビタミンB1 0.44mg、ビタミンB2 0.51mg、ビタミンB6 0.48mg、ビタミンB12 1.7μg、ビタミンC 1.0～70mg、ビタミンD 1.9μg、ビタミンE 2.2mg、ナイアシン 4.8mg、パントテン酸 1.7mg、葉酸 80μg、カルシウム 300mg、鉄 2.6mg、亜鉛 3.4mg、マンガン 1.4mg、マグネシウム 120mg、銅 0.3mg、ヨウ素 45μg、セレン 10μg、クロム 8.2μg、モリブデン 14μg
内容量	300g
お召し上がり方	健康保持のため、1日1回20g（大さじ約3杯）を目安に、約100mLの水やお湯に溶かしてお召し上がりください。濃さは好みで調節していただけます。コーヒーや紅茶、青汁、ヨーグルトのほか、シチューなど料理に混ぜてもおいしく召し上がれます。 ※ご使用方法について不明な点は、お問い合わせください。
価格	2,484円（税込）
販売者	森下仁丹株式会社
販売ルート	通信販売、百貨店ルートほか

役員

代表取締役社長	森下雄司
取締役（社外取締役）	杉浦一哉
取締役（社外取締役）	齋藤洋一
取締役（常勤監査等委員）	光永健治
取締役（社外取締役）（監査等委員）	澤田徇己
取締役（社外取締役）（監査等委員）	石原真弓
常務執行役員	目黒一夫
常務執行役員	森田真司
執行役員	笹野恭行
執行役員	布川秀昭

商号 森下仁丹株式会社
MORISHITA JINTAN CO., LTD.

資本金 35億3,740万円

事業の内容 医薬品、医薬部外品、医療機器、化粧品、食品及び雑貨等の製造販売

事業所及び工場

本社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号 電話 (06) 6761-1131 (代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号 電話 (072) 800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12 電話 (0749) 48-7370
長浜工場	滋賀県長浜市小野寺町字下寺70番7 電話 (0749) 74-8500
東京オフィス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F 電話 (03) 6206-8138

株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日
(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (<https://www.jintan.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

配当金を「配当金領収証」でお受取りの株主の皆様へ 「配当金の口座受取り」に関するご案内

◆予め指定した銀行や証券会社の口座で配当金を受取る方法をご案内申し上げます。
支払開始日に迅速かつ安全、確実にお受取りいただけますので、是非ご検討いただきますようお願いいたします。

【お受取り方法について】

受取口座	メリット	受取方式
銀行口座での 受取りを希望される方	全ての銘柄の配当金を1つの口座でまとめて管理することが可能 銘柄ごとに配当金の受取り口座を選択することが可能	登録配当金受領口座方式 個別銘柄指定方式
証券会社の口座での 受取りを希望される方	配当金とご所有株式を証券会社の口座でまとめて管理することが可能	株式数比例配分方式*

(*) 複数の証券会社で株式をご所有の場合は、それぞれの証券会社の口座に配当金が振り込まれます。また、ご所有株式の一部が特別口座で管理されている場合は、この方式は選択できません。

【配当金の口座受取りに関する「お手続き」「問い合わせ」について】

◆証券会社の口座で株式を管理されている株主様：
お取引の証券会社までお問い合わせください。

◆証券会社に口座をお持ちでない株主様 (特別口座管理の株主様)：
下記の株主名簿管理人までお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711
(通話料無料、受付時間：土・日・祝日等除く平日9:00~17:00)
大阪証券代行部 0120-094-777
(通話料無料、受付時間：土・日・祝日等除く平日9:00~17:00)

当社ホームページのご案内

当社WEBサイトで各種情報を公開しております。
是非一度ご覧ください。

<https://www.jintan.co.jp>



▲ トップページ



▲ IR情報